

SafeSearchおよびApplication ControlのUmbrellaでの設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[概要](#)

[アプリケーション制御](#)

[SafeSearchとアプリケーション制御](#)

[現在のオプション](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco UmbrellaでSafeSearchおよびアプリケーション制御を設定する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Umbrellaに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

概要

セーフサーチは、主要な検索エンジン内の機能で、検索コンテンツの結果がアダルトコンテンツから除外されるように制限します。Umbrellaでのセーフサーチの適用の詳細については、[Umbrellaのドキュメントでセーフサーチの適用に関する説明](#)を参照してください。

現在ポリシー設定でセーフサーチを適用していない場合、この記事は適用されません。SafeSearchを実行していて、アプリケーション制御の設定を使用している場合、または使用を検

討している場合は、次のページを読んでください。

アプリケーション制御

Umbrellaのアプリケーション制御により、Web上からアプリケーションのキューレーションされたリストをワンクリックでブロックできます。これらのアプリケーション設定は、基本的なカテゴリ設定に加えて適用されます。詳細については、[アプリケーション制御設定に関するUmbrellaのドキュメント](#)を参照してください。

SafeSearchとアプリケーション制御

GoogleドライブなどのGoogleプロパティに対してアプリケーションコントロールを有効にすると、Google検索に対するSafeSearchコントロールは、ポリシーのすべてのユーザーに対して直ちに削除されます。BingやYouTubeなどのその他のSafeSearch強制は、Application Controlがこれらのサービスに対して有効になっていない限り、影響を受けません。

現在、次のアプリケーション設定によって、Googleのセーフサーチを無効にすることができます。

- Googleドライブ
- Googleハングアウトとトーク
- Gmail

現在のオプション

現在、Umbrella製品には、SafeSearchをポリシーに確実に適用するためのオプションが2つあります。

1. アプリケーション制御ブロックを無効にするか、包括セーフサーチを必要とするポリシーのGoogleサービスを許可します。Googleプロパティが適用されている間、Application ControlはSafeSearchと互換性はありません。
2. サードパーティアプリケーションを使用して、ローカライズされたSafeSearchを適用します。

コメント、懸念事項、要求については、[Cisco Umbrellaサポート](#)にお問い合わせください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。